

# 5分で読める 医療安全ニュース 8期/8号

## 何かおかしい？モヤモヤしたときは・・・

### \* 10月の総報告件数

・2017年10/1～10/31の総報告件数は56件、一時保存のままで当事者に確定されていない状態の事例報告が15件、確定はされているが所属長が未承認なため医療安全管理室でコメント入力出来ない事例報告が16件あります。  
・Lv3bの1件とLv3aに分類される4件の内3件は転倒事例で合計でも9件ありました。  
・リストバンドなど確認不足での患者誤認が2件ありましたが、いずれもLv2以下でした。



ポリタンクに給水しているところと上部は水道本管の工事現場

(筆者撮影：2017/11/02 午後10時頃)

### ● 後から考えてみれば・・・

1. 事例報告書の「背景要因の概要」項目に、**実は前から〇〇な事があれば△△しようと考えてはいた、とか、あの時□□をしていれば防げたかもしれない、などと述べられていることがあります。**
2. **人が失敗することを完全に防ぐことはできませんが、経験をふまつつ早々に発見し、事故に結びつけない工夫をすることが医療の現場では非常に大事です。**
3. 「振り返ってみれば・・・」という筆者の最近の経験から述べさせていただきます。

### ● まさかの事態に！

1. 自宅前の空き地で1か月くらい前から造成工事が行われており、午後7時過ぎに帰ってきたとき、道路の穴を6～7人でのぞきこんでいました。このときそばを通りながら「こんな時間まで工事？なんか変だな？」**少しモヤモヤとした感じ**でした。
2. 1時間後くらいに水の勢いが少し弱くなったのですが、その時点では工事と結びつかず「あれ？どうしたのかな？」でも**モヤモヤ(何かおかしい?)は高くな**っていました。
3. それから十数分後、近所の方が来て「付近一帯で水が出ない」と知らせてくれました。そこで初めて工事のことが頭に浮かびすぐに現場へ。中には工事関係者に激昂している方もいましたが、私自身は怒鳴ったところで状況が変わるわけでもなく「がんばってね」とか言った方が良いかな？と。そんな感じで工事の方と話をよくよく聞くと「工事中たまたま本管からの水漏れを発見した。原因はわかっているので恐らく5～6時間で復旧すると思われる」とのこと。
4. すでに水道局職員も来ていました。断水後1時間程度で水道局の広報車が現況をお知らせしながら走り、その後1時間くらいで給水車が到着しました。災害時に報道で見たことはありますが、本物から給水して頂くのは初めてです。(左図参照)給水を受けようとするとタンクが必要ですが、趣味のひとつにアウトドアがあり40ℓのタンクで当面のトイレなどは安心できました。ミネラルウォーターも2ℓが10本非常用に備えており、仮に朝まで続いても大丈夫かな？とさえ思いました。よく言われるお風呂の水は溜めていませんでした。水垢が付いて掃除が面倒、と、そちらを優先させていた事を後悔しました。
5. 自宅には温水給湯器があり370ℓのお湯が非常時には使えることは知っていましたが**説明書が見当たらず使い方がわからない！**ネットで検索しましたが、「まずは給水栓を閉め」の給水栓の位置がわからず結局使えませんでした。約5時間の断水でしたが、今回偶然に漏れが見つかったことで、早く復旧できたのかもしれない。

### ● 今回のエピソードから

1. **緊急の事態はいつ起こるか分からないから緊急なのであって、普段から備えておくことは無駄なことをしているのではないということ。**非常用水やタンクなど・・・。
2. **あれ？なんだか変だなと思ったことはそのまましておかず、ああそうか！と納得するまで原因を究明しておくことが肝要。**モヤモヤを感じたあのときに・・・。
3. これまで事例報告のコメントを1,500件以上書いてきましたが、いろいろ通じるモノがあり何かのヒントになれば、と、ご紹介させていただきました。

2017/11/28

医真会八尾総合病院 医療安全管理室